

平成16年度「港湾空港技術特別講演会in高松」が開催されました

高松港湾空港技術調査事務所 調査課

1. はじめに

平成17年2月24日(木)、サンポートホール高松において、(独)港湾空港技術研究所及び四国地方整備局の主催による「平成16年度港湾空港技術特別講演会 in 高松」を開催しました。

2. 1 港湾空港技術特別講演会の概要

港湾空港技術特別講演会は国土技術政策総合研究所と(独)港湾空港技術研究所が、最新の研究及び技術開発の成果について講演を行い、全国的に普及を図るとともに、現場で直面する技術上の諸問題に対し、講演及び質疑応答を通じてその解決を図り、産・学・官相互の技術力の向上に寄与することを目的に、平成4年度より全国各地で開催されています。

2. 2 講演会内容

本講演会では、国土技術政策総合研究所、(独)港湾空港技術研究所及び(財)沿岸技術研究センターの最新の研究及び技術開発成果に関する講演を行いました。また、講演に先立ち「四国地方整備局港湾空港部の事業概要」及び「四国における研究及び技術開発計画(成果)」について紹介させて頂きました。

[講演プログラム]

1. 港湾空港技術研究所の近況 ~世界に貢献する技術を目指して~

(独)港湾空港技術研究所 統括研究官 岩崎 三日子

2. 四国地方整備局港湾空港部の事業概要

四国地方整備局 港湾空港部長 芦田 義則

3. 四国における研究及び技術開発計画(成果)の紹介

四国地方整備局 高松港湾空港技術調査事務所長 水谷 雅裕

4. 大規模地震に備えた港湾・海岸施設の耐震対策

(独)港湾空港技術研究所 地盤・構造部長 白石 悟

5. 高波・高潮・津波災害の防止に果たす研究の役割

~研究成果は災害防止にどのように活かされるか~

(独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部長 山根 隆行

6. 沿岸域の総合的管理について - 「快適に憩える美しい東京湾の形成」の成果と課題 -

国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部長 細川 恭史

7. 設計の合理化と国際標準化

(財)沿岸技術研究センター理事 国際沿岸技術研究所所長 山本 修司

8. 水中作業の無人化に関する最近の研究成果

(独)港湾空港技術研究所 施工・制御技術部長 横井 博志

講演は大規模地震対策、高波・高潮・津波対策、技術開発等に関連した貴重な講演となりました。とりわけ四国における喫緊の課題である「大規模地震に備えた港湾・海岸施設の耐震対策」については、強震動の予測、各種構造物の耐震性の評価、液状化対策を含めた耐震対策についての最新の研究成果の紹介があり、今後の防災に対する取組みを行う上で大変参考になる講演でした。

また、「高波・高潮・津波災害の防止に果たす研究の役割」については、海から来襲する高波・高潮・津波を対象に、研究の現状と課題について紹介があり、台風や津波といった災害の防止に対して、研究はどこまで貢献でき、どのように活用していくことが災害の防止につながるのか、より一層理解が深まったと感じています。



港湾空港技術研究所 小和田理事長 挨拶



四国地方整備局 中村次長 挨拶



四国地方整備局 芦田港湾空港部長
「四国地方整備局港湾空港部の事業概要」



港湾空港技術研究所 白石地盤・構造部長
「大規模地震に備えた港湾・海岸施設の耐震対策」



港湾空港技術研究所 山根海洋・水工部長
「高波・高潮・津波災害の防止に果たす研究の役割」



参加者からの質疑

3 まとめ

本講演会は、港湾・空港関係機関、大学、事業者等、総勢300名の方のご参加を頂き大盛況に終わりました。講演で得た研究及び技術開発成果については、我々関係者のみに止めず、成果の有効な活用方法を考え、国民と我が国の活力、安全、環境、暮らしの向上に資するよう広く普及していくことが重要と考えております。今後も、引き続きこのような講演会を開催していきたいと考えていますので、よろしくお願い致します。